



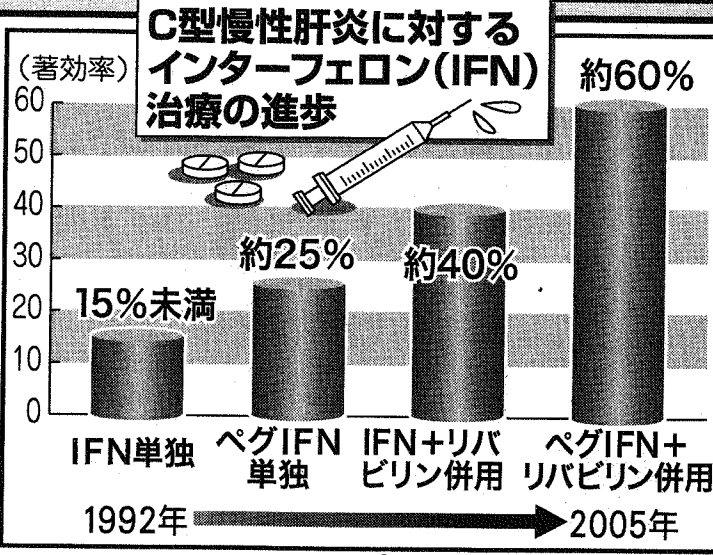
注射薬+飲み薬でウイルス退治



肝臓病は治らないというイメージがあるが、肝炎の多くはウイルスによるもので、薬でウイルスを退治して治すことが可能。インターフェロンに加え、効果的な飲み薬も登場している。「肝炎」の3回目は最先端の治療について。

C型1型で6割、2型は9割

B型慢性肝炎の治療薬は、ラミブジン、アデフォビル、エンテカビルという3種類の確率はおおむね30%。治らぬ飲み薬と、インターフェロンという注射薬、これらをタイミングよく用いることで、肝炎を治すことが可能だ。肝炎に詳しい柴田内科・消化器科クリニックの柴田実院長は、B型慢性肝炎の場合、ウイルスを完全に排除することは難しいため、薬でウイルスの増殖を停止・低下させ、肝炎を治したり、進行を抑え、合併症を抑えることが大切だ。どのよう治療を進めるかは年齢や炎症の程度、ウイルスの量などにより決まる。場合によっては、治療はせず経過観察になることもある。



併用療法で治ります!



慢性なら適度な運動を

筋力ダウン逆効果
〇…肝炎の治療は安静第一といわれるが、それは急性肝炎の場合。慢性肝炎は、原則として生活の制限はなく、ごく普通に仕事やスポーツをしてもかまわない。「安静にしてもウイルスは減りません」と柴田医師。筋肉は肝臓の代謝の仕事を一部肩代わりしてくれるため、安静にすぎず体力や筋力が落ちるのは逆効果。適度な運動をしたほうがよさそうだ。

「平和共存」の人も

「治療しないという選択肢もありますが、B型肝炎は経過の個人差が大きいので、治療しない場合や、飲み薬を長期的に服用する場合、きちんと定期検査を受けることが必要です」治療が難しいとされてきたC型慢性肝炎は、数年前にペグインターフェロン(注射薬)とリバピリン(飲み薬)の併用療法が行われるようになって、治るケースが飛躍的に増えた。C型ウイルスには1型と2型があり、2型では約6割の患者さんが治るようになりました。インターフェロンが効きにくい1型でも、併用療法によって、約6割の人が治ります。ウイルスを排除できない場合でも、多くの人に肝機能の改善がみられ、併用療法は世界の標準的治療となっているが、副作用が問題。インフルエンザのような発熱や貧血、抑うつ症状などの副作用がある。インターフェロン療法は年齢が60歳以上で、C型慢性肝炎はゆるい進行する病気で、肝硬変や肝臓がんになるまでに平均して30年かかるので、高齢で初期の肝炎ならば、治療をしながらも天寿をまっとうできるというわけだ。「高齢者の慢性肝炎に必要な治療は、安心させてあげる

心配し過ぎ禁物
B型でもC型でも、肝炎の程度が軽いうちはあまり心配せずに、「健康を思って生活してね」と柴田医師。定期健診を怠らず、進行がみられたときに治療を受けるかどうか検討することが大切だ。(メディカルライター・四宮規子)



柴田実(しびた・みねお) 柴田内科・消化器科 院長

質源です。歯の調子が悪い時や高齢者、小さい子どもでもうれしい魚です。またカルシウムの吸収を助けるビタミンDを

「有機緑茶青汁」料である大麦若葉 県産「ニンニク」ホシ定してリニュー

漢字を魚へんに「春」と書いてサ 暖流にのって広く回流し 春を告げる魚たるため、おめでたい出世魚として昔から好まれて きました。 栄養素面を見ると、身

「春」と書いてサ 暖流にのって広く回流し 春を告げる魚たるため、おめでたい出世魚として昔から好まれて きました。 栄養素面を見ると、身

「お茶ミル容器 粉末茶にすればお水に溶けにくい。や水に溶けにくい。酸がまるごと摂る。価格は1万円

「お茶ミル容器 粉末茶にすればお水に溶けにくい。や水に溶けにくい。酸がまるごと摂る。価格は1万円